

「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」について 全員協議会を開催

平成30年1月9日に、全員協議会を開きました。全員協議会とは、市政全般にかかわる政策等についての協議を行うために開かれる会議です。

全員協議会では、「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」について、市当局から説明を受けました。

平成30年度から平成48年度までの18年間の事業の計画で、事業費は約8億円。国が50%、県が15%負担し、大牟田市は35%を負担するものです。

これまで議会としては、将来の維持・管理計画、経済効



果などを市民・議会に公表すること、予算を最小限にとどめ、費用対効果の明確化などを求める決議を平成23年12月議会において全会一致で可決するなど、強い関心をもって取り組んできました。

会議では、計画策定の経過、

市民意見の反映、他事業との予算や優先順位などの観点で議論を交わしました。

今後については、行財政運営や、まちづくりに影響が及ぶことも想定されるので、今後とも注視していく必要があります。

■各議員から出た市当局への主な意見など

- ・市民の関心が非常に高い計画となるため、進捗状況や計画の変更などを随時市民や議会等へ報告すべき。
- ・計画後の具体的な実施についても市民の理解と支持のもとに進めるべき。
- ・厳しい財政状況の中、市民の理解と合意を前提に必要な最小限の費用で実施すべき。
- ・子育て支援や教育に税金を使ってほしいとの市民の意見も多くある。
- ・貴重な税金の投入。財政事情をしっかりと勘案し必要であれば見直すべき。
- ・世界遺産の維持に必要な部分とそれ以外について、予算額も含め整理し示すべき。
- ・整備を望む市民だけではない。住民福祉の向上に直接結びつく投資とはならないことも認識し計画を実施すべき。
- ・18年にわたる長期計画。今後の情勢の変化に柔軟に対応して進めるべき。
- ・世界遺産の整備にあわせて近隣住民の住環境整備も考慮すべき。
- ・長期計画となっているが、早急に必要なのは仮設も含めた対応や整備を検討すべき。

インフォメーション

■次の定例会は2月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（平成24年度以降）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。

2月下旬から閲覧できます。ホームページでも2月下旬から閲覧・検索できます。